事業番号	273

平成27年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	史跡小牧山整備事業							担当部	教育委員会事務局	
	会計区分	一般会計		事業類型	実施計画事業				担当課	小牧山課	
	事業期間	平成12年度以前	～	平成31年度以降					担当係	史跡係	
	総合計画分野別計画 主目的	4 教育文化	15 文化振興	3 小牧固有の歴史・文化遺産を保全・活用します							
	総合計画分野別計画 副目的	18－1							実施計画対象	○	
	予算区分	款	10	項	5	目	7	大	4	中	2
	根拠法令・個別計画	史跡小牧山整備構想・文化振興ビジョン									
	目的（対象をどの様な状態にするのか）	発掘調査を行って基礎資料を作成し、貴重な歴史遺産を後世に残すための整備をおこなう。									
	内容（手段）	◆26年度実施内容 ・発掘調査 （主郭地区第7次 計260㎡） 史跡小牧山整備計画基本構想に基づき、保護と活用のバランスのとれた整備を進めるとともに、発掘調査を実施して整備のための基礎資料を収集した。 ・主郭地区第7次発掘調査ビデオ記録撮影 今後の石垣復元整備のため、石垣の状態をビデオ撮影し、記録として残した。 発掘調査は職員が中心となり、アルバイト作業員を指揮して調査、記録、保存を実施。その他、発掘調査現地説明会の実施や補助金の申請業務等各種所手続きを行った。 ◆26年度直接経費の内訳 測量設計委託料（旧本庁舎跡地の整備実施設計その2）（3,456千円） 測量委託料（三次元計測）（4,320千円） 史跡小牧山整備調査研究委託料（345千円） ビデオ記録撮影委託料（488千円） （仮称）史跡センター整備基本構想策定委託料（1,944千円） 史跡小牧山保安林解除申請等調査委託（2,160千円） 史跡小牧山整備工事（園路修繕工事）（12,714千円） その他、発掘調査作業員賃金、旅費、消耗品費等（10,749千円） ◆27年度直接経費の内訳 設計・監理委託料（旧本庁舎跡地基盤整備工事監理）（1,500千円） 測量委託料（三次元計測）（5,400千円） 史跡小牧山整備調査研究委託料（400千円） ビデオ記録撮影委託料（1,500千円） 史跡小牧山整備工事（旧本庁舎跡地基盤整備工事）（65,000千円） 発掘調査埋戻し等工事費（9,300千円） その他、発掘調査作業員賃金、旅費、消耗品費等（8,191千円）									
	受益者負担	無									

				単位	H24決算額	H25決算額	H26決算額	H27予算額
コスト	費用	直接経費		千円	37,516	31,856	36,176	91,291
		正職員	従事者数	人	0.70	0.40	1.00	1.50
			人件費	千円	3,682	2,104	5,260	7,890
		その他職員	従事者数	人	27.50	12.50	15.00	20.00
			人件費	千円	12,471	6,760	10,138	7,104
		費用合計		千円	53,669	40,720	51,574	106,285
		対前年比		%		75.8	126.6	206.0
	財源	一般財源		千円	44,460	29,893	44,598	74,923
		国・県支出金		千円	9,209	10,827	6,976	31,362
		その他財源		千円	0	0	0	0

事業番号	273

業績	活動指標名	単位		H24	H25	H26	H27
	発掘調査	㎡	目標	460	430	430	310
			実績	390	322	260	
	発掘調査現地説明会	回	目標	1	1	1	1
			実績	1	1	1	
			目標				
			実績				
	成果指標名	単位		H24	H25	H26	H27
	記録保存	㎡	目標	460	430	430	310
			実績	390	322	260	
	発掘調査現地説明会参加者	人	目標	―	―	―	―
			実績	700	500	700	

事業の自己評価			
平成26年度の実施結果	事業の達成状況	主郭地区の発掘調査を行った結果、新たに3段目の石垣が発見されるなど、今後の整備に向けた大きな成果を得ることができた。また、旧本庁舎跡地整備実施設計や（仮称）史跡センター整備基本構想の作成等を行い、次年度に向けての準備を整えることができた。	
	事業実施における課題	発掘調査結果によって、小牧山の整備スケジュールが変更になった場合、予算執行に支障が生じる。	
	事業を縮小・廃止したときの影響	小牧山の歴史的価値や魅力を、現在のみならず後世に伝えることができなくなる。	
平成27年度の改善内容	27年度における事業の改善・見直し内容（新規追加事項、廃止・削減事項等）	発掘調査後、遺構保護のため埋め戻しを行うが、その理由が市民に理解されず、苦慮している状況にある。このため、案内看板や遺構表示の新設等を行い、小牧山城の魅力が伝わるようにする。	
平成28年度の事業の方向性	方向性の判定	拡　大	対象の拡大や手段の充実等により、事業のボリュームを拡大すべきもの
	判定理由	引き続き小牧山城の発掘調査を行い、整備のための情報を得るとともに、旧本庁舎跡地の整備を行い、史跡小牧山の本来の姿に戻すことで、歴史的価値を高めていくため。	
	28年度以降の改善案	主郭地区については、本整備を行うまでの間に暫定整備を行うなどし、整備が完了しなくても小牧山城の価値や魅力が伝えられる方策を検討していく。	

二次評価	方向性の判定	判　定　理　由
	拡　大	一次評価のとおり。